

英語語法文法学会第22回大会プログラム

(大会参加費：学会会員 1,000 円 / 当日会員 一般 2,500 円 学生 2,000 円 (いずれも予稿集代を含む))

日時：2014年10月25日(土) <昼食はご持参ください。学内の食堂・コンビニもご利用可能です。>

開催地：摂南大学 (寝屋川キャンパス)

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8
http://www.setsunan.ac.jp/

順路：京阪「寝屋川市駅」より、西口3番乗り場から 京阪バス[3][5][10][11][12] 系統で約15分

●大阪駅からは

JR大阪環状線(外回り)で、京橋へ約5分、京阪本線(準急または急行)で京橋駅から寝屋川市駅まで約15分

●京都駅からは

近鉄京都線で丹波橋駅へ約10分、京阪本線(特急)で枚方駅へ約20分、(準急または普通)で寝屋川市駅へ約10分

開催校委員：家口美智子、西川真由美、田中秀毅、住吉誠

- ワークショップ(5号館 542) ●研究発表(5号館 542、543) ●総会(5号館 551) ●シンポジウム(5号館 551)
- 一般休憩室・書籍展示(5号館 541B) ●司会者・関係者(ワークショップ・研究発表・シンポジウム発表者)控え室(5号館 544A)
- 大会本部・運営委員会室(5号館 541A)

受付：10時00分より 11号館エレベーターホールおよび11号館/5号館ホール

ワークショップ(5号館 542) 10:40 - 11:31

司会 吉田幸治(近畿大学)

1. 「be ... to V 構文の文法化—義務を表す表現を中心に—」..... 武内祐樹(関西学院大学大学院)
2. 「コーパスデータに基づく"had better 構文"の新しい語法」..... 長谷川順子(大阪工業大学非常勤)
3. 「happy と glad が従える補文標識 that の有無に関する一考察」..... 土屋知洋(防衛大学校)

受付：12時30分より

研究発表 13:00 - 14:45

第1室(5号館 542)

司会 野村忠央(北海道教育大学)

1. 「on top of と at the top of について」..... 西前 明(明治学院大学非常勤)
2. 「Yes-No 疑問文に現れる認知的用法の may について」..... 明日誠一(青山学院大学非常勤)
3. 「比較の強調語句に関する文法知識の検証」..... 井上 聡(環太平洋大学)

第2室(5号館 543)

司会 松山哲也(和歌山大学)

1. 「証拠性を表す have it that 構文」..... 五十嵐啓太、本多正敏(筑波大学大学院)
2. 「"I so envy her and her talent!" envy: dative verb から emotion verb へ」..... 松元豊子(神戸市外国語大学非常勤)
3. 「英語における有方向動詞の存在意義を問う」..... 出水孝典(神戸学院大学)

総会(5号館 551) 15:00 - 15:20

開会の辞	会長	内田聖二	(奈良大学)
開催校代表挨拶		今井光規	(摂南大学学長)
学会賞選考報告	会長	内田聖二	(奈良大学)
事務局報告	事務局長	五十嵐海理	(龍谷大学)

シンポジウム(5号館 551) 15:35 - 17:45

テーマ 「文法化と構文をめぐって」

司会 松村瑞子(九州大学)

1. 「文法化研究の展開—談話標識をめぐって—」..... 川端朋広(愛知大学)
2. 「文法化と構文的变化」..... 米倉よう子(奈良教育大学)
3. 「構文化の射程と文法化」..... 前田 満(愛知学院大学)

閉会の辞 家口美智子(摂南大学)

懇親会 18:00 - 19:30 会場：スカイラウンジ(11号館13階)

(懇親会費：一般 5,000 円 学生 3,000 円)

連絡先：英語語法文法学会
(〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5 龍谷大学社会学部 五十嵐海理研究室内)
tel. 077-543-7436 (研究室) / fax. 077-543-7615 (社会学部) email: segu.office@gmail.com